

一宮市・一宮市医師会

一宮市 在宅医療連携拠点推進事業

事業実施後・10年後の将来ビジョン

15か月後の姿

治す医療 から 支える医療 を目指して

- ◆ 課題抽出と将来にわたる計画遂行の責任を担う恒久的な会議の開催
- ◆ 多くのかかりつけ医の在宅医療連携への参加
- ◆ 市内共通の利用者情報基盤の整備・確立
- ◆ 医療介護資源の可視化による在宅医療・介護へのアクセス増加
- ◆ 在宅医療に関わる人材確保と多職種連携の推進に寄与する研修会の開催
- ◆ 自宅を終の棲家と意識できる切れ目のない住民啓発の実施

10年後の先に見えるもの

豊かな終末期を迎える QOD の実現

- ◆ 拠点事業以来、円滑な在宅医療の推進により、かかりつけ医の在宅医療参加は倍増し、市内全域を網羅する地域拠点数が確保できる
- ◆ 多くのかかりつけ医の在宅医療参加に加え、看取りを支援する慢性期施設も充実し、市内の看取り難民は皆無となる
- ◆ 慢性期施設の充実は急性期病院の負担軽減に大きく寄与し、救急医療体制の維持や望まない延命をめぐる葛藤から救急医を解放できる
- ◆ QODの実現が、より豊かなQOLにつながってゆく